

(Form1)

加藤敏夫フェロー 受け入れ研究者調書兼承諾書

1. フェロー候補者

氏名 (英文)					
国籍		生年月日		性別	男性・女性・その他

所属

所属機関 (英文)					
部局名 (英文)					
現職名 (英文)					
機関所在国					

博士の学位

学位の種類		取得年月日 (西暦)	
学位授与機関名			
機関所在国			

連絡先

住所			
電話番号 1		電話番号 2	
e-mail1:			
e-mail2:			

2. 受け入れ研究者

氏名

(漢字)	
(フリガナ)	
(ローマ字)	

会員番号 (日本数学会)

--

所属

所属機関	
(和文)	
(英文)	
部局名	
(和文)	
(英文)	
職名	
(和文)	
(英文)	

所属機関所在地

所属機関 部局所在地			
電話番号		Fax	
e-mail:			

候補者との関係（□にチェックをいれてください）
☐ 直接面識がある ☐ 継続的に共同研究を行ったことが有る ☐ 以前共同研究を行ったことが有る ☐ 研究集会などで知り合った ☐ その他（具体的に） ☐ 直接面識がない（応募者との関係を書いてください）
研究計画等事前交渉の状況
☐ 十分におこなわれている ☐ 十分におこなわれていない

3. 外国人研究者の受け入れ体制

受け入れの際に与える身分または名称等	
図書館等の期間内の施設の便宜 ☐ 与える ☐ 与えない	
研究室内で場所を与えること ☐ できる ☐ できない	
国際関係部局等機関における支援体制がある場合は名称及び支援内容を記入ください	
研究室内で若手研究者とのコミュニケーションや交流 ☐ できる ☐ できない	
宿泊施設の見通し ☐ ある ☐ ない	

3 ページ目からは承諾事項になります。

4. 受入に関する承諾事項

募集要項の 7 の(1),(2)項により、受入研究者は、

- (1) フェローの来日後の円滑な研究遂行を可能にするため、研究機関に受入体制（研究室での受入条件、受入れにあたっての身分等）を十分告知し、その合意を得ておく必要、および、
- (2) 受入研究機関の事務担当者の協力を得て、フェローが受入研究機関において滞りなく共同研究等の研究活動が遂行できるよう、必要な受入体制を整えること。またフェローの来日前に必要な手続き（査証の申請手続きを含む）及び宿舍の確保などの助言を行うことが義務付けられています。

☐このことを理解している。（☐にチェック）

日付 年 月 日

所属・職名

署名（自筆）